

社会科でよく出題される地図の判別問題の一つです。石油がほとんど産出しない日本では、原料の輸入に便利な臨海部、とりわけ太平洋ベルトに石油化学コンビナートが集中しています。よって正解はアになります。

ちなみにイは埼玉県の秩父地方や山口県の秋吉台、福岡県の平尾台などの特徴ある立地からセメント工場、ウは製品の付加価値が高いため特定の地域に関係なく全国に立地する半導体工場、エは安全性や用地確保の理由から都市部を避け、冷却水として海水を利用することから臨海部に立地する原子力発電所の分布を示しています。

こうした問題では、工場や産業などの立地を丸暗記するのではなく、むしろそれがどのような地域に立地するかを考えることが重要です。

[平成 21 年度出題]



正解

ア